

教育委員会執行事務の点検と評価

平成28年度

平成29年8月

智頭町教育委員会

目 次

1. はじめに	… P 1
2. 平成28年度の主要事業・評価・主な取り組み状況・課題問題点	… P 2～P 21
3. 教育委員会の活動状況	
1) 教育委員の在任状況	… P 22
2) 教育委員会の会議の状況	… P 23
4. 附属機関の開催状況	… P 24
5. 参考資料	… P 25

1. はじめに

教育委員会では、今後の課題や取り組みの方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図るため、教育委員会の事務・事業の点検・評価を行いました。

趣 旨

平成20年4月に改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、新たに「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、議会に提出するとともに、公表しなければならない。」旨が規定されました。

これに基づき、智頭町教育委員会では、平成19年度から具体的な施策や主要な事業について、点検及び評価を実施することとしました。

今後の課題や取り組みの方向性を明らかにすることにより、教育行政施策の効果的な推進を図りたいと考えています。

実施方法

智頭町教育ビジョン及び智頭町子ども子育て支援事業計画に基づく前年度の具体的な施策及び主要事業を対象として、年1回の点検及び評価を実施しました。

点検及び評価は、前年度の事業等の実施状況を報告するとともに、課題や今後の取り組みの方向性を示すものとし、町教育委員会において点検及び評価を実施しました。

点検及び評価を行った後、その結果を取りまとめた事業評価書を智頭町議会へ提出するとともに、公表することとします。

根拠法令

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(昭和31年法律第162号)第27条(一部省略)

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

平成28年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成28年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>《次世代育成事業》</p> <p>子育て支援センターの運営充実</p>	<p>*子育て環境づくりを進めるため、子育て支援センターの運営を充実します。</p> <p>*子育て講演会の開催</p> <p>*講座の開催</p> <p>*子育て相談</p> <p>*子育てサークルの育成</p> <p>*父親の子育て参加を促進</p>	<p>○</p>	<p>*月曜日から金曜日まで毎日開所し、ゆったりと穏やかに過ごせる環境づくりに努めました。「癒される場」と保護者からの声も聞かれました。(年間延べ2,804名の利用者)</p> <p>*月1回「土曜開所」を行い、休日でも親子がゆっくりと過ごせる場所づくりをしました。また父親の育児参加がしやすい環境づくりにも努めました。父親の利用は少なくとも年間5名となっていました。(母親の利用79名)</p> <p>*子育てサークルの育成に向けて、保護者主体の活動を実施し、子育て仲間同士のつながりが深まり、自主運営のイベントの開催ができました。</p>	<p>*休日の開所を、イベント的な取組の組みと併せて行い、父親の参加・利用をより一層推進します。また、父親が参加しやすい環境づくりに努めるとともに、開所を多くの利用者に周知する工夫もします。</p> <p>*異年齢児が集う場所ですが、年齢にあった環境づくりが不十分です。工夫をしながらどの年齢の子どもたちも楽しめる場所づくりを行います。</p> <p>*自然や季節感を取り入れた遊びも工夫をします。</p> <p>*保護者の子育てや自分自身の悩み相談に的確に答えたり悩みに寄り添う関係作りを行います。</p> <p>*子どもたちの発達や遊び・環境について職員の研究を行います。</p>
<p>ファミリーサポートセンター推進事業</p>	<p>会員の増加、利用件数の促進、働く人のサポートのため、利用しやすいシステムづくりの構築を図ります。</p>	<p>○</p>	<p>*保育園・塾への送迎が最も多い支援でしたが、食事つきの利用が増え働くお母さんの支援の必要性を感じました。(夕食等が保育園の給食と重ならないよう保育園との連携も行いました。年間利用件数134件・会員数158名(依頼会員103名・支援会員44名・両方会員5名)</p> <p>*会員研修4回を計画しましたが参加者は少なく内容・周知の方法に工夫が必要です。</p>	<p>*会員の整理をし会員数は減りましたが、支援内容に適した人材のコーディネートをしていきます。そのためにも支援会員の勧誘を行っていきます。</p> <p>*利用会員には子ども様子を事前に記入してもらってまいります。利用の有無に関わらず毎年更新してもらい周知します。</p> <p>*会員研修を周知し参加を呼びかけると共に、適切な支援が行えるようにします。</p>

平成28年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成28年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>放課後児童クラブの設置運営</p>	<p>保護者の仕事と子育ての両立支援や、放課後児童の自主的 생활の場と居場所づくり及び、少子化によつて失われた子どもたちが群れる場所を提供します。</p>	<p>○</p>	<p>*各児童クラブ保護者説明会（4回） *指導員研修会（2回） *夏休みクッキング、クリスマス会、老人クラブとの交流会、6年生とのお別れ会を実施 *特別支援教育コーディネーターを招いて子どもの様子を話し合い、支援の仕方や子どもとのかかわり方など、指導員同士の共通理解を図りました。 *智頭と土師の活動環境に差があり、智頭クラブの子ども達の遊ぶ形に指導員の苦労がうかがえます。 *子どもたちの居場所づくり（安心できる生活の場）のため、長期休暇期間は小学校と連携して遊び場を確保するなどの工夫に心がけました。</p> <p>【登録児童数】 H28.08.01時点 智頭：67人 土師：51人</p>	<p>今後の課題・問題点と方向性</p> <p>*智頭放課後児童クラブの施設が狭く十分な活動スペースがないため、翌年度事業で旧諏訪保育園を活動拠点に活用すべく、環境整備（施設確保）の準備を進めます。 *保護者の協力意識が低いため、保護者への働きかけの強化が必要です。 *児童の安全確保と成長を見守るための指導員の養成が必要です。 *夏休み等長期休業中は、利用したい児童が増え、指導員の確保が例年の課題です。 *支援を必要とする児童も増えてきているので、指導員の子とも理解が必要で、そのためには今後子どもと語る時間の保障や、小学校との連携強化、研修の充実が必要です。</p>

平成28年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成28年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
育児支援家庭訪問事業	未就園児家庭の訪問等を通じて、育児支援が必要な家庭に対し、子育て経験者等による育児相談、家庭援助を行います。	○	*未就園児の全家庭を訪問し、養育支援を行いました。 *家庭訪問回数78回（内赤ちゃん訪問20家庭） *町の支援・施策についての紹介や子育て情報を提供しました。	子育て不安のある家庭に対し、支援の方法について関係者（保健師・医療関係・支援センター等）と連携を強化します。 *乳児健診や離乳食講習会を利用して子育て支援センターへの利用を促し、孤独な子育てにならないよう配慮します。
家庭支援推進保育	就学前までの育ちや見通しを立て、児童の健全な発育を目指します。	△	*懇談会や研修を計画し、担任保育士や特別支援教育コーディネーター等と連携をとりながら、発達支援・保護者支援を行いました。 *家庭訪問などの実施ができませんでした。	家庭支援推進保育士は、重要な職務ですが、兼務なので家庭の中に入り込んで支援することが難しい状況にあります。
森のようちえん事業	鳥取県の認証を受け、豊かな森林を活用して自然環境を中心とした自然保育の中で、幼児期の健やかな育成を進めている森のようちえん事業を支援します。	○	*児童1人当たりの月額単価により、まるたんぼうとすざぼくりに支援しました。 *今年度より、第2子以降保育料軽減事業を開始し、保護者負担軽減に努めました。	*森のようちえんととのさらなる連携を図り、問い合わせなどにスムーズな対応ができるよう努めます。
保育園建設事業	諏訪保育園とあたご保育園を統合し、1園とした新保育園の建築を行う。	○	*平成29年度の開園に向け、建物整備と引っ越しを実施しました。	*新施設の維持管理と、保育園としての機能の充実に努めていきます。

平成28年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成28年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>3. 4. 5才児の保育事業</p>	<p>*児童福祉法第39条の規定に基づき、園児の最善の利益を考慮し、健全な心身の発達及び保護者の就労を保障します。</p>	○	<p>*以下の職員を配置し実施しました。 3才児42名 担当保育士3名 補佐1名 4才児44名 担当保育士2名 補佐1名 5才児39名 担当保育士2名 補佐1名</p>	<p>*保護者アンケート(114家庭中74家庭の回答)による園評価の結果はおおむね良好でした。総合評価では、とてもよかった・よかったが92%、悪かった・とても悪かったは7%でした。保育方針・保育目標・めざす子ども像の保育士への周知は、概ねできていたと思いますが、自己評価では保育力の向上などの課題も多いです。 *保護者の理解と協力・職員の連携でよりよい保育内容を創造していくことが課題です。</p>
<p>3. 4. 5才児の保育事業</p>	<p>*子どもたちの持っている力を活かしながら、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う環境を整え、養護と教育を一体的に行います。</p>	○	<p>*保育にかかわる専門職(保育士・調理員)が協力し、専門性を発揮しながら、養護と教育の一体的な展開を図り、質の高い保育が推進できよう、年間研修計画をたて園内研修を充実させたり、専門性を高める研修会に積極的に参加して、臨時保育士を含め各々の資質向上に努めました。 *保育課程、年齢に適した保育計画・食育計画のもとに、主体的な発達要求にตอบสนองする環境を豊かに整え、保育の資質向上を図り、発達課程に応じた保育の充実に努めました。</p>	<p>*あらゆる研修情報を提供すると同時に、資質向上の機会を作り研修を積み重ねました。外部研修会には、時間的に参加が難しいこともありましたが、研修体制を整えることが課題です。また、給食試食会やおやつレストランを計画的に実施し、保護者・子ども共に食育に対する関心を高め、年間計画をもとに保育・食育を充実させることでもできました。 *専門性を高める研修会に積極的に参加し、研修を積み重ねようとしてきましたが、研修したことが十分に活かされていないと思っております。また、個人差もありますが、意識のレベルアップや保育に対する感覚を磨く事が課題です。</p>
	<p>*家庭・地域とも連携しながら、小学校への望ましい接続を図ります。</p>	◎	<p>*小学校との交流・連携を図りながら、就学を意識した保育活動を実施しました。 *保育園・小学校の連絡会を開催し、育ちと学びをつなぐ接続を図りました。特に、特別に支援を必要とする児童に対しては、小学校・保育園・保護者が、さめ細かく情報を共有し、共通理解に努めました。 *保育を公開する機会を設け、小学校及び家庭の理解を得ると同時に、地域の要請に応じて交流を深めました。</p>	<p>小学校との交流・連携を図るとともに、情報共有をしています。後半は、学校生活への適応を意識しながら保育活動を実践していく必要があると思われれます。</p>

主 要 事 業	平成28年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>諏訪保育園 家庭支援事業</p>	<p>保護者の意向を受け止め、子どもと保護者の安定した関係に配慮しながら、望ましい子育てを支援します。</p>	○	<p>* 同和保育を理解し、人権意識を高める職員研修を実施しました。 * 園児一人ひとりの生活とその背景の把握に努め、保護者の思いにより添った信頼関係の構築、育児支援の推進を目指しました。</p>	<p>* 全職員対象の同和問題研修会を計画的に実施し、原点到返り研修しました。 * 年1回のクラス懇談のほか、個人懇談は年2回実施し、随時園だより・学年だよりで保護者理解と協力を求めながら、必要に際し家庭訪問を実施しました。保護者の思いに寄り添い、信頼関係を深めていくことが課題です。</p>
	<p>*一人ひとりの全面发展を保障します。</p>	○	<p>* 職員間の共通理解を図り、家庭とも連携しながら、必要な支援・発達を促す有効な保育内容を創造して実施しました。 * 発達に関する研修と実践を重ねながら、専門機関と連携し、支援を展開しました。</p>	<p>* 集団に適応し難い園児が安定して過ごせるよう、智頭町特別支援教育コーディネーターの支援を受けながら、園内全体で取り組みました。 定期的な指導助言を受けながら保育実践を重ねたことで、子どもも選が安定して集団生活を送ることができました。今後、個々の実態に合わせた定期的な指導助言が必要です。</p>
<p>諏訪保育園 一時預かり事業</p>	<p>* 智頭町在住の保護者の要請にこたえ、未就園の3～5才児を一時的に預かり、子育て負担の軽減を図るなど育児を支援します。</p>	○	<p>* 専任の職員配置はありませんが、同年齢のクラスで受け入れて実施しました。 * 一時的であっても受け入れクラスを固定化したことで、より安心して利用してもらえました。</p>	<p>年少児4名 延べ 30日間 年長児1名 延べ 4日間 計 5名 延べ34日間の利用がありました。</p>

平成28年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成28年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>あたご保育園 0.1.2歳児の保育事業</p>	<p>*児童福祉法第39条の規定に基づき、園児の最善の利益を考慮し、健全な心身の発達及び保護者の就労を保障します。</p> <p>*子どもたちの持っている力を活かしながら、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う環境を整え、養護と教育を一体的に行います。</p>	○	<p>以下の職員を配置し保育しました。 0才児14名(9月より広域入所1名) 計15名 担当保育士5名(内臨時保育士3名、補佐1名) 1才児26名 担当保育士6名(内臨時保育士3名) 2才児34名 担当保育士6名(内臨時保育士3名)</p> <p>*年間計画に基づく園内研修・園内公開保育・食育研修・その他専門性を高める研修会に積極的に参加し保育実践につながる保育内容の創造に努めました。 *保育計画・食育計画のもとに、臨時職員と保育観を統一し、子ども一人ひとりの発達に合わせた保育環境を整え、保育の質を高めていきました。 *家庭訪問による個人懇談等を通して、園児一人ひとりの生活とその背景を把握し、保護者の思いに添いながら、育児支援に努めました。 *全職員での園内保育研修・同和問題研修などを実施し、人権感覚を高めるよう努めました。</p>	<p>今後の課題・問題点と方向性</p> <p>*0才児の保育室を2部屋に分け月齢に配慮した保育をしました。 *低年齢児の入園に伴い、保育士(有資格者)の確保が課題です。 *年々乳児の入所が多いため、看護師の配置が望ましいと思われず。</p> <p>*保育の専門性を高める研修・資質向上の機会を作り、年齢別に臨時職員も含め子ども達の発達に合わせた研修を深めてきました。研修を積み重ねるだけに終わらず実践に移し、保育の質を高めていくことが必要で、自己評価を基に保育内容の質を向上させることが課題です。</p>
<p>あたご保育園 病児・病後児保育事業</p>	<p>*保護者の意向を受け止め、子どもと保護者の安定した関係に配慮し、望ましい子育てを支援します。</p>	△	<p>*保育者とのより良い関係作りをしていきながら、信頼関係を築き、育児に対する不安など、より適切な育児支援ができるような職員の対応が必要で、</p>	<p>*保護者とのより良い関係作りをしていきながら、信頼関係を築き、育児に対する不安など、より適切な育児支援ができるような職員の対応が必要で、</p>
<p>あたご保育園 病児・病後児保育事業</p>	<p>*病児又は病氣回復期の園児を保育(看護)することで、保護者の子育てと就労の両立を支援します。</p>	◎	<p>*保育士1名を配置し、智頭病院小児科の受診で集団保育が適さないと診断された病児又は病氣回復期の園児を保育(看護)し延べ人数244人の利用がありました。</p>	<p>*年間通して利用者が多く、その中でも特に未満児の利用が多かったです。専任の保育士だけで対応ができな場合は他の職員で対応をいたしました。利用希望の多い日は対応しきれない日もありました。</p>
<p>あたご保育園 一時預かり保育事業</p>	<p>未就園児を預かり、児童福祉の増進と子育ての支援を図ります。</p>	◎	<p>*保育士1名を配置し、一時的に保育園に預けることを必要とされた未就園児を保育しました。 *今年度の新規登録人数6名、利用人数は9名。年間延べ利用人数は43名で例年になく、少なかったです。</p>	<p>*利用者が重複することもあり、調整が困難となり受け入れをお断りしなければならぬ実態もありました。</p>

平成28年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成28年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>《小中学校教育の充実》</p> <p>智頭町学力向上推進事業</p>	<p>0歳から15歳を見通した教育の推進、小・中学校教育の充実、家庭教育の推進を図るため、専任指導主事を設置し、学力向上指導主事を含むその推進・充実を図ります。</p>	<p>◎</p>	<p>* 智頭町小学生英会話教室を開催し、国際感覚豊かな人材の育成や、土曜日における教育環境の充実をめざしています。地域人材を活用することで、今年度も6人のネイティブスピーカーと交流できました。体験を重ねる中で、英語や外国人の方とのコミュニケーションについて、気後れすることなく積極的な姿が見られています。</p> <p>* 授業力アップ研修会が現場教師には好評です。今年度は、県の事業を活用して模擬授業をおして智頭町が整備を進めているICT機器を活用し、具体的なスキルを向上をめざしました。</p> <p>* 全国学力・学習状況調査で上位を継続している福井県の学校を視察しました。開催時期を1学期に早めることで授業実践の期間を増やしました。小中学校の教員が一緒に視察、研修することで連携を深め、それぞれが自校に持ち帰り智頭町の学力向上と小中連携推進に役立てています。</p>	<p>今後の課題・問題点と方向性</p> <p>* 土曜日の過ごし方が充実していない児童も一定数いるため、さらに参加者を広げたいと思います。参加児童増加に向けて、智頭小学校PTA総会での保護者向けの広報、参加対象学年の拡大などの手を打ちます。3・4年生からの外国語活動導入も決まっております。新たな地域指導者やALTの活用により開催回数を増やします。</p> <p>* 智頭町独自である授業力アップ研修会により、教師の授業力向上と児童生徒の学力向上を図っていきたいと考えます。一流の専門家や現場での豊かな実践を持つ講師を招き、具体的な指導が受けられる体制を続けたいと考えます。</p> <p>* 全国的な情報と、新しい取り組みを肌で感じる手段の構築が求められます。</p>
<p>指導主事の設置</p>	<p>0歳から15歳を見通した教育の推進、小・中学校教育の充実、家庭教育の推進を図るため、専任指導主事を設置し、学力向上指導主事を含むその推進・充実を図ります。</p>	<p>○</p>	<p>主に学力向上や生活習慣の改善、保小中連携を推進するため、各学校園、専門部会等での指導助言を行うとともに、幅広い分野で学校支援を行っています。小中学校教員がお互いの授業を公開、参観しあうなど、学力向上へ向けて小中学校の教員が一体となった取り組みが進んでいます。</p>	<p>* 保小中の連携や一貫した取り組み強化が求められています。智頭教育会との連携で、保小、小中の交流をさらに進めたいと考えます。</p> <p>* 「とつとりの授業改革【10の視点】」をもちとに、学校での授業力向上を具体化し、恵まれたICT環境を生かしながら、小学校の学びを中学校につなげることで、児童生徒の学力が向上するよう努めたいと考えます。</p> <p>* 改訂智頭町教育ビジョンの内容を実施でき、学校現場でその周知をさらに図る段階をめざします。</p>

平成28年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主要事業	平成28年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
マイクログラス等管理事業	学校教育や各種団体活動への移動手段としてマイクログラスによる支援を行います。	○	学校教育の支援と、教育関係団体の研修等への活用が増加するなど、効果が発揮できました。	<p>今後の課題・問題点と方向性</p> <p>*適切な維持管理を行い、幅広く活用できるようにしていきます。</p> <p>*特に校外学習で活用されています。</p> <p>*小学校統合後は、学年の人数が多くなり、マイクログラス1台での運用が難しくなっています。</p>
小学校管理事業	児童及び教職員の活動の場として学校施設の維持管理と、教育環境の整備を行います。	○	<p>*智頭小学校の施設の維持管理を行いました。</p> <p>*学校現業職員を配置しました。</p>	<p>*智頭小学校については教育施設としての機能を維持していきます。</p>
小学校教育振興事業	「生きる力」の育成と人間性を育む「心の教育」を行い、生活習慣の確立を図り、児童一人ひとりを大切にされた教育活動を行います。	○	<p>通学費、修学旅行費などの補助や準要保護児童への援助を行い、保護者の負担軽減を行いました。また、ICT機器を整備し学習への活用を図りました。特別支援教育支援員を配置し個々の学習にあった体制整備を図りました。</p>	<p>継続して、生活習慣の確立と学力の保障を行っていき必要があります。</p>
特別支援教育総合推進事業	早期支援コーディネーターを配置し、支援の必要な幼児児童生徒へ早期に関わりを持ち、継続した支援を行う活動を行います。	◎	<p>早期支援コーディネーターを配置し、のびっご相談や保育園、小中学校の定期訪問とおおし、支援の必要な児童生徒への早期の関わりにより、その後の学習や生活への適切な適応に結び付ける活動を実施しました。</p>	<p>専門知識を有する支援コーディネーターの活用により、保護者からの相談受け付けや情報提供がスムーズに行われています。現場の教職員の更なる資質向上に結び付け事業としていきます。ちづ保育園に一園化されたため、保育園での支援や活動を効果的に実施していく必要があります。</p>
学習支援・生活支援員の設置	小学校の就学に際し、学習・生活に支援の必要な児童のため支援員を配置します。	◎	<p>智頭小学校特別支援学級を中心に6名の支援員を配置し、学習支援の充実を図りました。通常学級での支援を要する児童にも、適切に対応することができました。</p>	<p>*自閉症・情緒障がい児学級が2クラスとなり、通常学級も含め支援が必要な児童が増加する傾向にあります。今後も支援の必要な状況を極めながら、適切に対応するよう努めます。</p>

平成28年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成28年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
創造的な学習支援事業	総合的な学習や体験的な学習の充実を図ることにより、ふるさとを知り、ふるさとを愛し、進んで本町に関わる子どもを育てていきます。	◎	<ul style="list-style-type: none"> *各地域の歴史文化をはじめとして特色を学び、郷土愛を醸成することができました。 *地域内講師（ゲストティーチャー）による民芸や米作りなど独自の学習を実施しました。 *地域の次代を担う子ども们的育成が図れました。 	<ul style="list-style-type: none"> *小学校では、地域の人材活用をさらに進めることで、新たな学校風土が築き上げられることが期待されます。 *学校支援地域パートナーシップの仕組みを活かし、学校と地域とがつながるよう支援していきます。 *中学校では、キャリア教育との視点から、地域とつながりのある活動が引き続き行われます。
小学校同和教育研究事業	差別に気づき、差別を見逃さない、差別に負けない、人の痛みを尊ぶ、重なる教育の充実を図ります。	○	<ul style="list-style-type: none"> *地区学習会を開催しました。 *学習のみならず、生活習慣や差別のない社会を目指し、差別に負けない学習が展開されました。 *同和問題のみならず、広く人権に関わる問題についても学んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> *地区学習会事業以外にも、総合的な学習や学校行事など、人権について学べる機会をさらに増やすようにしていきます。
中学校管理事業	生徒及び教職員の活動の場として学校施設の維持管理を行います。	○	<ul style="list-style-type: none"> *適切な管理により長期運用をめざします。 *学校現業職員・学校図書館司書を配置しました。 	<ul style="list-style-type: none"> *教育施設としての機能を維持していきま

平成28年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成28年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>中学校教育振興事業</p>	<p>「生きる力」の育成と人間性を育む「心の教育」を行い、基礎基本を徹底させ、生徒一人ひとりを大切にしたい教育を行います。</p>	<p>○</p>	<p>* 地域の講師を招聘し、茶華道・野球の部活動の活性化を図りました。 * 教育の機会均等を図るため、通学費、修学旅行費、特別支援学校への通学費等の支援制度で生徒と保護者負担の軽減を図っています。</p>	<p>* 自立心と自律的な態度が育つように、生徒の実態に応じた効率的な教育活動を支援していきます。 * やさしさたくましさ兼ね備えた生徒を育成するため、教職員の授業力の向上をめざします。</p>
<p>外国語指導助手招致事業</p>	<p>児童・生徒が生きた外国語に直接ふれることにより、興味と関心を持ち国際理解と学習意欲の向上につなげます。</p>	<p>◎</p>	<p>* 中学校と小学校を担当するALTを配置しました。 * 中学生においては、英語の授業をとおり、英会話を習得し、確実な英語力と、国際化時代に対応した異文化の知識も向上しました。 * 小学生は、国際化時代に対応した外国語活動を実施するとともに、1～4年生との交流の時間を増やしました。</p>	<p>* 1名のALTにより、小学校と中学校との連携を図り、一貫した指導が可能になりつつあります。小学校5・6年生の英語科、小学校3・4年生への外国語活動導入も見据え、時間帯に対応できるような体制を整えたいと考えます。 * 保育園への訪問も、計画的に実施したいと考えます。</p>
<p>心の教室相談員事業</p>	<p>生き生きと勉強や各種活動に取り組む生徒の育成と、生徒の問題行動解決につなげます。</p>	<p>○</p>	<p>* 生徒の問題行動やストレス、不安を解消するため相談員を配置し、生徒の心の安らぎもたらされるようにしています。 * 不登校生徒への支援も行き、状況の改善も見られました。</p>	<p>* 相談員が関わることで、登校につながる生徒がいます。 * 平成28年度で心の教室相談員の配置を終了します。今後は、不登校の一助となるよう、新設のスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーと連携した家庭とのかわりが期待されます。</p>

平成28年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主要事業	平成28年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
地域に学ぶワクワクちづ事業	職場体験活動を通して地域社会に学び自らの進路について主体的に考える人間形成の場とします。	◎	2年生が3日間にわたり町内の31事業所で職場体験を行いました。仕事の厳しさや、将来の夢を見つめる機会となり、キャリア教育の推進となりました。	<p>今後、協力をいただけたら、事業所の確保を今後も進めていきます。</p> <p>*キャリア教育の視点から将来の夢や希望となるよう実施前後での十分な準備と活かされる方を工夫します。</p>
中学校同和教育研究事業	差別に気付き、差別に負けない、人の痛みをわける生徒の育成と人権を尊重する教育の充実を図ります。	○	*生徒の身の回りの生活改善はもとより、差別のない社会の実現を図るため、学習に加えて基本的な生活習慣確立や人権問題考える機会とさせていただきます。	<p>*小学校での学びの上に立ち、中学校での人権学習での学びが、生徒の生きる力となるよう、また日常生活の中で実践化されるよう支援していきます。</p>

平成28年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主要事業	平成28年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
《社会教育の充実》 社会教育委員	社会教育の振興を図るために社会教育委員会を開催します。	△	社会教育委員会を開催。 「智頭町社会教育計画」を策定しました。	*各委員の活動をとおして社会教育の活性化を図ることを共通認識しています。 *委員会を今後定期開催していく必要があります。
文化財保護事業	町内文化財の調査・研究を通じて、町内に点在する文化財の掘り起こしと保護と活用を図ります。	△	*町内文化財の掘り起こしと調査研究を行いました。 *智頭町の林業景観に関する報告書とぼぼん計画書を作成しました。	*無形文化財の掘り起こしも地域と連携して進めたいと考えます。 *未開催であった審議会を今後開催していく必要があります。
文化振興事業	町民の文化意識の高揚と地域文化の振興を図るため、文化協会並びに協会加盟団体の活動支援と智頭町文化祭など各種文化事業を推進します。	○	*智頭町文化祭 延べ来場者数560人 内訳：展示の部 10/25(土)・26(日) 250人 前夜祭ライブ 11/8(土)70人 芸能の部 11/9(日)240人 *第19回ふれあいコンサート10/23(日)229人	*町内文化事業の担い手の高齢化が進み、熟練の域にある一方、若年世代の参加・継承等が課題です。 *文化祭は智頭町文化協会への委託事業です。文化祭のあり方を再検討し、町民への作品展示・芸能発表はもとより、他団体の作品・芸能の認め合いと掘り起しが必要です。 *補助事業であるふれあいコンサートは、良質な音楽を町民に提供するという趣旨をふまえ、今後も幅広いジャンルのアーティストを招へいしていきま
町成人式	町の将来を担う新成人者を町を挙げて祝福し、成人の自覚と町への愛着を醸成します。	○	新成人等で構成した実行委員の企画による「智頭町成人式」を開催しました。式典終了後に実行委員(新成人)の進行で祝賀会を開催し、なごやかな雰囲気での会となりました。平成29年1月8日開催…当日参加者数60人、内在住成人者数52人(外国人登録者含む)	*対象新成人の自主的な企画による成人式を今後も継続しつつ、成人者としての自覚を持てる企画を来年度に向けて検討します。
社会教育事業 (婦人団体・青少年の育成)	婦人団体の活動支援と青少年育成推進指導員協議会を通じた育成事業などを実施し、青少年の健全な育成を推進します。	○	智頭町青少年育成推進指導員協議会(15人)の委託事業と、学校給食センターとの共催による事業等を実施しました。サマーキャンプ(大山青年の家)35人、夏・冬子どもおやつ作り教室(ほのぼの)28人、チャレンジ教室(智頭町総合センター)24人、新春書き初め大会37人参加このほか、町連合婦人会、婦人団体連絡協議会、杉の子塾の活動費補助を行いました。	杉の子塾を含めた町内の青少年育成団体との事業連携・調整を図ります。

平成28年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主要事業	平成28年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>家庭教育学級事業</p>	<p>社会環境の変化により地域のつながりが希薄となり、家庭・地域の教育力が低下する中で、国の支援事業を活用して家庭教育の学習機会を提供します。</p>	<p>○</p>	<p>*「機関紙ひだまり」を作成し、テーマ等を変えながら保・小・中学校の各家庭に配布しました。 *関係機関で参観日等を活用し、家庭教育学級(PTA研修会等3回)を開催しました。 *徳岐國学習センター長を講師に招き「家庭教育講演会」を開催しました。参加者数82人(うち中学生11人)</p>	<p>*家庭教育については、保護者への粘り強い啓発が必要で、特に講演会・研修会等へ参加しない人への働きかけが課題となっています。</p>
<p>遺跡発掘事業</p>	<p>埋蔵文化財の保護と智頭枕田遺跡の調査・研究・活用を行います。</p>	<p>○</p>	<p>*町内開発計画への対応を行いました。 *土器づくり教室・文化祭への展示、土師公民館祭への出店を行い、町民理解に努めました。 *智頭町埋蔵文化財センターの開設を行いました。</p>	<p>*先人の記録である「遺跡」の価値を現在の智頭町民に正しく伝えるために、研究(ハード)と展示や体験などの活用(ソフト)をバランス良く行うっていくことが重要です。</p>
<p>生涯学習講座</p>	<p>自主的な学びの場、町民の交流の場、生き甲斐づくりの場としての受け皿となる多様な分野の生涯学習講座を開催します。3年間の講座を経て、自主運営サークルへの発展をめざします。 [平成28年度 生涯学習講座] ハーブ&アロマセラピー(3年目)</p>	<p>○</p>	<p>【生涯学習講座】実績 *ハーブ&アロマセラピー(9回開講)受講者数7人</p>	<p>*各講座(智頭学を除く)で3年間続ける受講生の割合にハラつきがあり、さらに開講回数が多い講座は、年間の出席率にも大きなハラつきがあります。3年間を通して続けられる講座開催が必要です。 *3年で終了を迎えた講座がその後、いかに自立したサークルとして定着するかという課題もあります。 【近年自立し、現在も活動しているサークル】 カーテニング教室(H17~19) 和紙折り紙教室(H17~19) マジッククラブ(H18~20) 絵手紙(H23~25)</p>
<p>高齢者教育事業</p>	<p>高齢者が様々な分野の学習活動を通じて楽しみながら知識を身につけ、生き甲斐のある充実した生活を送ることをねらいとした牛臥大学を開設します。またアンケート等を実施し受講者ニーズの把握に努めます。 6月開講 10回開催</p>	<p>○</p>	<p>6月~3月開講 *受講申込者数64人 *講座開催10回</p>	<p>*高齢者が楽しみながら自発的に学習する事業の趣旨に沿って、運営委員会で学習内容や受講生募集について検討が必要です。 *運営委員会は各地区老人クラブ会長で構成されており、機能強化を図る必要があります。</p>

平成28年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主要事業	平成28年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
地区公民館事業	地域における生涯学習・文化・スポーツ活動等の地域活動拠点施設として、住民主体の地域づくり運動の充実をめざします。	○	*地区公民館活動の運営を委託しました。 委託料4,972千円 総事業費26,281千円	*施設営繕が緊急の課題である。雨漏りなどによる漏電、火災発生が懸念される。 *中央公民館との連携、地区振興協議会との協働を通じて、幅広い社会教育活動の展開が求められている。
歴史の道整備活用推進事業	平成8年に文化庁から「歴史の道百選」に選定された智頭往来を整備すると共に保存・活用します。	○	*志戸坂峠の保存修理工事をしました。 総事業費5,020千円	*整備計画を見直し、国史跡として全線指定されるよう努めます。 *国史跡指定を契機に、観光交流の視点でも活用することが必要です。 *岡山県西粟倉村との連携が必要と考えます。
板井原集落整備活用推進事業	板井原集落を「伝統的建造物群保存地区」(鳥取県選定)として保存計画に基づいた修理事業と活用事業を行い、国の選定をめざします。	△	*集落内建築物1棟の改修を助成し、景観保全を図りました	*継続的に集落の景観保全を図るとともに、集落保存協議会と連携した地域振興事業を行う必要があります。特に開発事業との調整は今後とも注意を払う必要があります。
石谷邸保存活用整備事業	因幡街道ふるさと振興財団へ指定管理委託し、文化財としての観光拠点施設として管理運営を行います。	○	*石谷家住宅の管理運営を引き続き財団法人因幡街道ふるさと振興財団へ指定管理委託しています。 委託料 9,246千円 入館者実績 H28・24,580人 *県指定名勝である石谷氏庭園の維持管理を行いながら、年2回の庭園特別公開を通じて情報発信に努めました。	*智頭宿のまちづくり拠点施設として積極的に関わることが必要です。 *平成13年の一般公開から随所に補修箇所が見られることから、計画的な維持管理が必要です。
《社会体育の充実》 スポーツ推進委員	各地区から選出された18名で構成されるスポーツ推進委員により、町民力づくり事業の普及・振興と町体育事業への参画及び推進委員としての資質向上のための県内体育事業等へ参加します。	○	*中国地区スポーツ推進委員研究大会に3名参加しました。(開催：島根) *上記の他、智頭町体育協会、スポねっとちづの主催する事業、また民泊マラソンにも役員として参画しました。	*町の体育事業への参加はもちろんです。スポーツ推進委員としての具体的な活動内容を考え、自発的に体育振興の充実を図る主体となることが求められます。 *スポーツ推進委員としての役割を明確化し、共有することで、めざすビジョンを明らかにする必要があります。

平成28年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成28年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>体育振興事業</p>	<p>智頭町体育協会を中心に町民の健康づくりや生涯スポーツ活動に寄与する体育事業を展開します。またスポーツねっこは、運動能力の向上や仲間づくり、他者への思いやり的心を育むことを目標にスポーツ普及を推進します。</p>	<p>○</p>	<p>＊体育協会への活動支援による各種スポーツ大会等を実施しました。(町民体育祭、ハレーボール大会、クラシンドゴルフ大会等) 団体数：8 ＊総合型地域スポーツクラブ「スポねっことちづ」への活動支援によるスポーツ環境の整備拡充を図りました。(クラブ数：8) 会員数：142名 ＊JX-ENEOSから講師を招き、バスケットボール教室を開催しました。(参加者：34名) ＊トップアスリート育成支援事業奨励金を、8件(延べ7名、1団体)に対し850千円を交付しました。</p>	<p>＊体育振興をより活性化させるため、町内の体育関係団体の連携を密にし、それぞれが協力をしあって活動する必要があるとあります。</p>
<p>体育施設管理事業</p>	<p>スポーツ活動や健康づくりの場となる体育施設の適正な管理と環境整備を進めます。</p>	<p>○</p>	<p>＊各体育施設の維持管理を行っています。 ＊智頭温水プールの管理運営を(株)エヌ・エス・アイへ指定管理委託しています。 ＊委託料 18,342千円 ＊智頭温水プールの濾過機入替、勤労者体育センタートイレ改修工事など、修繕事業を行いました。</p>	<p>＊町の中核体育館として、勤労者体育館を様々な年代、性別、障がいの有無にかかわらず使用していただけるような体育館として整備を進めることが必要です。</p>

平成28年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成28年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>《図書館事業》</p> <p>図書館</p>	<p>図書館サービスを充実させ、個人の利用を増やします。また、保育園や学校へのサービスにも努力します。</p> <p>目標…貸出冊数 49,000冊</p>	<p>◎</p>	<p>*カウンター業務を中心にしながら、保育園図書室、学校図書館等を支援し、団体への貸出の搬送もしています。</p> <p>利用登録者数…個人 3,907名(新規137名)、団体 159団体</p> <p>貸出冊数…50,855冊(個人38,930冊、団体 11,925冊)</p> <p>リクエスト件数…4,422件</p> <p>シェアレンス件数…520件</p> <p>学校図書館・保育園支援回数…延べ163回</p>	<p>今後の課題・問題点と方向性</p> <p>*貸出冊数は年々増加していますが、一人でも多くの住民に図書館サービスを知り、利用してもらおうことが大きな課題です。</p> <p>*学校図書館や保育園図書室の読書環境の整備により、公共図書館を利用する子どもが増えています。それによって一緒に来館する家族の積極的な利用につながるよう取り組んでいきます。</p>
<p>おはなし会事業</p>	<p>読書への入り口として、幅広く参加してもらえようなおはなし会を開催します。</p> <p>目標…参加人数 900人</p>	<p>◎</p>	<p>*子育て支援センター、福祉課栄養士等との協力による定例おはなし会や小学校他への出張おはなし会、季節のおはなし会を実施しました。実施回数…定例おはなし会12回、季節のおはなし会4回、出張おはなし会27回参加人数…定例おはなし会240人、季節のおはなし会74人、出張おはなし会…871人</p> <p>合計1,185人</p>	<p>今後の課題・問題点と方向性</p> <p>*おはなし会の参加人数は昨年度より増加していますが、家庭での読みきかせや読書活動につながる取り組みになっているかが課題です。</p> <p>*学校でのおはなし会では、ブックトークなど、読書意欲の育成に効果のある内容に取り組んでいきます。</p>
<p>ブックスタート</p>	<p>ブックスタートが家庭での読みきかせにつながるよう、啓発を工夫していきます。</p>	<p>○</p>	<p>*対象者に絵本を手渡し、読みきかせやわらべうたでふれあいの時間を持つよう奨めています。対象者…42名</p> <p>*フォロー事業として実施しているおはなし会は、子育て支援センターとの協力で月1回行っています。毎回好評です。</p>	<p>今後の課題・問題点と方向性</p> <p>*若い保護者に、乳幼児に対するメディアの影響やわらべうたの効用などを伝え、子どもとともに絵本に出会えるような講座の開催に取り組みます。</p>

平成28年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主要事業	平成28年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>子どもと本を知る講座</p>	<p>子どもに関わる全ての大人に、子どもと本に対する関心や知識を深め、読書の意義を理解していただきます。 目標…講座参加人数 100人</p>	<p>○</p>	<p>*保育園、小学校他各団体との連携で実施しています。 講座回数…2回、参加人数…119人 *「絵本はすごい！～親と子の心をつなぐ絵本の読み聞かせ～」講師：山田節子氏（児童書を楽しむ会つくしんぼ代表） 8月27日 諏訪保育園保護者研修会 77人 *「図書館の楽しさを子どもたちへ～瀬戸内市の新図書館づくりから～」講師：嶋田 学氏（瀬戸内市民図書館長） 3月26日 42人</p>	<p>*学校の参観日の研修などと連携し、いまだ忙しい子育て世代が参加しやすいように、学校教育担当者や家庭教育担当者との協力体制を深めていきます。 *保護者の読書や図書館への関心を高める目的で実施していますが、対象はほとんど入れ替わっていくため、継続した取り組みが必要でです。</p>
<p>図書館まつり事業</p>	<p>図書館を身近に感じ、親しみをもちたいことを目的に開催します。</p>	<p>○</p>	<p>*子ども図書館教室では子ども図書館を実施し子どもたちの目線で、図書館について考える機会を持ちました。 参加人数…のべ30人（1日目14人、2日目16人） *図書館スタンプラリーを実施しました。 参加人数…211人 *図書館まつり2016で、「智頭図書館クイズラリー」「昔の遊び体験」「立体土器パズル組み立てワークショップ」「智頭杉を知ろう！」「コーナー設置しました。また、智頭図書館を考える会の協力でバザーを実施し、盛り上げてもらいました。 参加人数…のべ154人 *人形劇 参加人数 53人</p>	<p>*図書館に関心を持ってもらうために、さまざまなイベントを実施します。 *人形劇は毎回昔話を題材にした作品を上演しています。</p>

平成28年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成28年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>あたまイキイキ音読教室 音読出前講座</p>	<p>高齢社会の中で、住民の「健康長寿」を応援することとを目的に、図書館や地域で音読事業を実施します。</p>	<p>◎</p>	<p>*あたまイキイキ音読教室 開催12回 参加人数のべ122人 毎回10名前後の参加者があり、定着しています。 *音読出前講座 開催13回 参加人数のべ181人 2回目、3回目の申込をされる団体があったり、テキストを保管し会の度に使用している団体があるようです。</p>	<p>*まだ音読を体験していないグループにも活用してもらおうと呼びかけていきます。</p>
<p>連携講座・講演事業</p>	<p>他の機関と連携し、講座・講演会を企画し開催します。</p>	<p>◎</p>	<p>*家庭教育講演会 82人 テーマ：地域の未来をつくるヒトづくり～島前高校魅力化プロジェクトより～ 講師 豊田庄吾氏（隠岐国学習センター長）</p>	<p>*図書館利用者以外の参加が多く見られました。 *他の機関との連携により、新たな利用者の開拓や、図書館への理解に繋がっていますので、今後も連携の対象を拡げていきます。</p>
<p>昔話伝承事業</p>	<p>智頭の昔話を保存し継承していくために、昔話に親しみ、関心を深めるよう事業を実施します。</p>	<p>○</p>	<p>*冬のおはなし会を「昔ばなしのへや」と題して毎年開催しています。鳥取市の中嶋須美子氏と智頭町の赤堀澄江氏に昔話を語っていただきました。参加人数…18人 *音読教室や音読出前講座に、地域の昔話をテキストにして、参加者みんなで読んでいます。</p>	<p>*音読教室や音読出前講座を通じて、大人への宣伝につとめました。今後は町内で、昔話を伝えるボランティアを養成していく必要があります。</p>

平成28年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成28年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性																								
<p>《学校給食事業》</p> <p>学校給食</p>	<p>学校給食は教育の一環であり、食事マナ、健康増進、地産地消、食文化の理解など、生涯を通じて健康であり続けるための「食」の基礎を身につけます。</p>	<p>○</p>	<p>衛生管理に努め、栄養バランスのとれた、安全で安心なおいしい給食を提供しました。</p> <p>小学校 56,700食 中学校 29,199食</p> <p>*学校給食食材の県内産地産地消費率は85%となり、今後高水準の維持を目指し、地元食材グループ、JAいなば智頭支店と連携を密にしながら地産地消を推進します。</p> <table border="1"> <tr> <td>H23年度</td> <td>61%</td> <td>H24年度</td> <td>77%</td> </tr> <tr> <td>H25年度</td> <td>73%</td> <td>H26年度</td> <td>68%</td> </tr> <tr> <td>H27年度</td> <td>85%</td> <td>H28年度</td> <td>83%</td> </tr> </table> <p>*学校給食費の徴収を給食協議会と連携することで、未納はありませんでした。</p> <p>*栄養士食育活動により子どもたちへの食育指導は大幅に充実し、子どもたちだけでなく職員、保護者を含め給食時間、T・T授業、個別栄養相談、クラブ活動など学校全体で食への関心が高まってきました。</p> <table border="1"> <tr> <td>H23年度</td> <td>188回</td> <td>H24年度</td> <td>136回</td> </tr> <tr> <td>H25年度</td> <td>162回</td> <td>H26年度</td> <td>123回</td> </tr> <tr> <td>H27年度</td> <td>128回</td> <td>H28年度</td> <td>146回</td> </tr> </table> <p>*生産者と児童との交流給食の実施</p>	H23年度	61%	H24年度	77%	H25年度	73%	H26年度	68%	H27年度	85%	H28年度	83%	H23年度	188回	H24年度	136回	H25年度	162回	H26年度	123回	H27年度	128回	H28年度	146回	<p>*食材グループ、JAいなば智頭支店の関係者に作付け予定品目と収穫時期などの調査を行い、地元食材の活用を行ったが、さらに品質の高い農作物生産に向けて、関係者との連携が必要であると考えます。</p>
H23年度	61%	H24年度	77%																									
H25年度	73%	H26年度	68%																									
H27年度	85%	H28年度	83%																									
H23年度	188回	H24年度	136回																									
H25年度	162回	H26年度	123回																									
H27年度	128回	H28年度	146回																									
<p>食育推進事業</p>	<p>学校給食センターが、町の食育推進の核として食育の研究、住民への啓発を行ないます。</p>	<p>○</p>	<p>*学校給食週間（1月）に給食展を開催、住民への啓発を図りました。</p> <p>*児童生徒、家庭の食への関心、知識を高めるため食育を積極的に推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育日より「きゅうちゃん ぼこちゃん」の発行 ・きゅうちゃんメールの町ホームページ掲載 ・中学生ワクワクちづの受け入れ ・おやつ料理教室の開催 ・八頭郡食育だより「すくうるらんち」の発行 ・小学校、中学校保護者試食会における栄養士の講話 ・我が家の目標料理募集 	<p>*給食展等への理解、啓発も徐々に図られており、更に住民への浸透を図るよう検討を進めていきます。</p>																								

評価の基準

◎ (順調)	優れた取り組みや状況が見られ、課題はほとんどなく、順調に目標が達成された。
○ (概ね順調)	よい取り組みや状況が見られ、若干の課題はあるが、概ね順調に目標が達成された。
△ (やや順調でない)	課題がわずかながらあり、目標達成がやや順調でないもの、又は一定の成果はあったが新たな課題が生じたもの。
× (順調でない)	課題が多く、まだ改善に向けた取り組みに着手できていないか、着手してもほとんど成果がないなど、目標がほとんど達成できなかったもの。

3. 教育委員会の活動状況

教育委員の在任状況

(平成29年3月31日現在)

役職	氏名	在任期間	備考
委員長	酒本弘道	平成25年10月1日～平成29年9月30日 委員長：任期 平成28年10月1日～平成29年3月31日	再任
委員長 職務代行者	米井照世	平成26年10月1日～平成30年9月30日 委員長職務代行：任期 平成28年10月1日～平成29年3月31日	再任
委員	平井早苗	平成28年10月1日～平成32年9月30日	
委員	徳永起宏	平成27年10月1日～平成31年9月30日	
教育長	長石彰祐	平成26年6月21日～平成29年3月31日	

1) 委員の異動

- 平成28年9月30日をもって平井早苗委員が任期満了となり、平成28年10月1日に選任（再任）されました。

2) 委員長等の異動

- 平成28年9月30日をもって酒本教育委員長、米井照世教育委員長職務代行者が任期満了となり、平成28年10月1日に教育委員長、教育委員長職務代行者共に再任されました。

平成28年度教育委員会の会議の状況（概要）

- ・教育委員会 定例会 12回 臨時会 1回
 - ・議案 20本 報告事項 48本 協議 5本
- ・学校・保育園訪問 8回
 - ・定例委員会と同日実施
- ・委員研修会 1回
 - ・鳥取県市町村教育委員研修会 倉吉市
- ・その他
 - ・保育園・小学校・中学校入学卒業式
 - ・智頭教育会出席
 - ・智頭町保小中高PTA連合会との意見交換会
 - ・各小中学校および各地区公民館運動会の視察

4. 付属機関の開催状況

教育委員会付属機関会議の開催状況

・智頭町社会教育委員会	2 回
・智頭町文化財保護審議会	0 回
・智頭町伝統的建造物群保存地区保存審議会	0 回
・智頭町スポーツ推進委員協議会	12 回
・智頭町青少年育成指導員協議会	6 回
・智頭町立智頭図書館協議会	2 回
・智頭町図書館づくり検討委員会	1 回
・智頭町学校給食センター運営委員会	1 回

資 料 編

(資料)

平成28年度教育委員会の会議の状況(詳細)

4月定例委員会(4月19日)

議案(5)

- ・ 特別支援教育コーディネーターの委嘱について
- ・ 平成28年度準要保護児童生徒の追加認定について
- ・ 心の相談員の委嘱について
- ・ 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
- ・ 智頭町立小・中学校主任等の任命について

報告(5)

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 図書館について
- ・ サドベリーの状況について
- ・ 給食センターの事業について

5月定例委員会(5月16日)

議案(1)

- ・ 平成28年度準要保護児童生徒の追加認定について

報告(3)

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 図書館について

6月定例委員会(6月22日)

議案(0)

報告(4)

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 図書館について
- ・ 新保育園について

7月定例委員会（7月29日）

議案（1）

- ・ 平成29年度における特別支援学級（肢体不自由）で使用する小学校教科書採択について

報告（3）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 図書館について

8月定例委員会（8月26日）

議案（1）

- ・ 平成28年度準要保護児童生徒の追加認定について

報告（6）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 教育委員会執行事務の点検と評価について
- ・ 図書館について
- ・ 新保育園の名称について
- ・ 訴訟関係について

9月定例委員会（9月21日）

議案（0）

報告（4）

- ・ 学校教育について
- ・ ちづ保育園の名称決定について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 図書館事業について

9月臨時委員会（9月30日）

議案（0）

報告（0）

協議（3）

- ・ 智頭町教育委員の任命について
- ・ 教育委員長の選任について
- ・ 職務代理の指名について

10月定例委員会（10月20日）

議案（0）

報告（5）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 図書館事業について
- ・ 智頭町文化的景観保存事業について
- ・ 訴訟について

11月定例委員会（11月10日）

議案（0）

報告（3）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育推進室・中央公民館の事業について
- ・ 図書館事業について

協議（1）

- ・ 総合教育会議について

町小中高PTA連合会「教育を語る会」（11月29日）

1 2月定例会（1 2月1 5日）

議案（1）

- ・ 教育長の勤務時間及び職務専念義務の特例に関する条例の制定について

報告（3）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育事業について
- ・ 図書館事業について

協議（1）

- ・ いじめ防止基本方針について

1月定例委員会（1月2 2日）

議案（3）

- ・ 智頭町就学援助費事務取扱要領の改正について
- ・ 平成2 8年度準要保護児童生徒の追加認定について
- ・ 智頭町森のようちえん保育料軽減事業補助金交付要綱の制定について

報告（4）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育事業について
- ・ 図書館事業について
- ・ 保育園建設事業について

2月定例委員会（2月2 2日）

議案（2）

- ・ 智頭町埋蔵文化財センターの設置及び管理に関する条例の制定について
- ・ 平成2 9年度準要保護児童生徒の認定について

報告（4）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育事業について
- ・ 図書館事業について
- ・ 大規模災害時の学校における避難所運営について

3月定例委員会（3月14日）

議案（6）

- ・ 智頭町児童福祉施設の設置及び管理等に関する条例の一部改正について
- ・ 智頭町家庭保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ・ 智頭町わが家で子育て応援給付事業実施要綱の制定について
- ・ 平成29年度準要保護児童生徒の認定について
- ・ 平成28年度末教職員人事異動表について
- ・ 智頭町埋蔵文化センターの設置及び管理に関する条例施工規則の制定について

報告（4）

- ・ 学校教育について
- ・ 智頭町社会教育計画について
- ・ 社会教育事業について
- ・ 図書館事業について

(資料)

教育委員会事務局主管の委員会の開催状況（詳細）

*智頭町社会教育委員会（2回）

開 催 平成28年6月28日
議 題 議長副議長選出
社会教育計画の策定について

開 催 平成29年3月16日
議 題 社会教育計画の策定について

*智頭町スポーツ推進委員協議会（12回）

開 催 H.28年 4/6、5/11、6/1、7/6、8/3、9/7、10/6、11/2、12/7
H.29年 1/11、2/14、3/1
議 題 ・各種事業打合せ及び事後協議

*智頭町青少年育成指導員協議会（6回）

開 催 H.28年 4/23、5/17、6/23、7/12、12/21 H.29年 3/29
議 題 ・各種事業打合せ及び事後協議

*智頭町立智頭図書館協議会（2回）

開 催 平成28年10月18日（火）
説 明 平成28年度智頭町立智頭図書館運営について
子どもの読書活動推進計画について
議 事 図書館運営と図書館の環境整備について

開 催 平成29年2月24日（金）
議 事 平成28年度図書館事業報告について
平成29年度図書館事業予定について

*智頭町子ども読書活動推進計画策定委員会

開 催 平成29年3月23日(木)

議 事 委員長、副委員長の選出

第2次智頭町子ども読書活動推進計画について

*第14回智頭町図書館づくり検討委員会

開 催 平成29年3月26日(日)

内 容 新図書館建設事業についての報告

*智頭町学校給食センター運営委員会(1回)

開 催 平成29年3月29日

議 題 役員の選出について

平成28年度学校給食の実施状況について

平成29年度学校給食費及び食数について